

令和2年9月八戸市教育委員会定例会会議録

開催日時 令和2年9月30日(水) 午後2時

場 所 市庁本館3階 議会第1委員会室

出席者	教育長	伊藤博章
	教育委員	武輪節子
	教育委員	大庭文武
	教育委員	築瀬眞知雄
	教育委員	油川育子

事務局出席職員	教育部長	石亀純悦
	教育部次長兼教育総務課長	橋本淳一
	教育部次長	中村雅臣
	学校教育課長	大館秀光
	教育指導課長	南舘義孝
	社会教育課長	館合裕之
	是川縄文館副館長	松橋広美
	総合教育センター所長	竹花和人
	こども支援センター所長	大坂吉弘
	図書館長	田茂隆一
	博物館長	小保内裕之

開 会

(伊藤教育長)

定刻となりましたので、令和2年9月教育委員会定例会を開会します。

本日の議事録署名は、築瀬委員を指定します。

それでは、はじめに私から、主な会議・行事等について説明いたします。

主な会議・行事等

(伊藤教育長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御質問などありましたらお願いします。

[質疑なし]

これより議事に入ります。本日提出されております議案を審議します。

はじめに、議案第35号「八戸市総合教育センター運営協議会委員の委嘱について」事務局から説明をお願いします。

議案第35号 八戸市総合教育センター運営協議会委員の委嘱について

(竹花総合教育センター所長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いいたします。

[質疑なし]

それでは、議案第35号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

[異議なし]

御異議がありませんので、議案第35号を原案のとおり決定いたします。

以上で、議案の審議は終わりました。

次に報告事項にまいります。

はじめに、「令和2年9月八戸市議会定例会一般質問について」は、事前に資料が配布されておりますので、委員の皆さんから質問がありましたら、お願いします。

【令和2年9月八戸市議会定例会一般質問について】

(築瀬委員)

2ページ目の「児童科学館の施設の現状と今後の改修計画について」です。施設と設備の老朽化については、児童科学館を訪れた誰もが感じていることだと思います。現在でも、あちこちと修理した部分が

見受けられるほか、ずっと同じ展示物であることなど、気にされている来館者は、私も含めて、いらっしゃるのではないかと思います。そのような思いと同時に、施設・設備を修理しながらも、多くの活用がなされているということは、大変頑張っていると感じております。

この児童科学館は、開館から41年を迎えましたが、開館当時は、教職員の研修や学習も行われており、教材研究センターとしての位置づけが強く、指導主事も配置されていました。社会教育のみならず、学校教育に関しても大きな役割を果たしており、私もここで研修をし、学んだ記憶がありますので、大変感謝しております。私たち教育委員も出席させていただいていますが、科学の祭典や、他にも様々なイベントが行われ、大変努力されております。答弁内容の中にも『「科学する心」を育むことができる大切な施設』とありますが、その価値が広く認知されてきたというふうに思いながら、この一般質問を見させていただきました。

また、この視聴覚センター児童科学館が、三戸郡を含めた広域的な施設として位置付けられていることを振り返ることも大切であると思います。つまり、三八地域全体において、非常に大事な施設だということです。今は民間委託がなされているわけですが、この答弁内容には「他都市の科学館を視察し、今後の在り方について研究をしている」と述べられていますし、「個別施設計画を策定する予定」といったことが示されていますので、機会があれば、その内容についてもお知らせいただきたいと思います。今後も、これまでの成り立ち、歴史をしっかりと踏まえて、そのような視点を持つことが大事だと思っています。

(伊藤教育長)

そのほか、委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

(武輪委員)

今、築瀬委員からもお話がありましたが、私も2ページ目についてお話しさせていただきます。41年経ち、児童科学館はいろいろな所が老朽化しているようですが、来館者数、プラネタリウム観覧者数ともに増加しているということは、やはりニーズがあり、楽しみにしている人たちがいるということかと思いません。科学の祭典においても、たくさんの方が訪れていらっしゃいます。この市民ニーズに応えていくために、個別施設計画を策定していただきたいと思います切に願っております。

(伊藤教育長)

そのほか、委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

(油川委員)

私からは、4ページから5ページにかけて高橋議員が御質問なさいました「GIGAスクール」に関する一般質問についてです。八戸市教育委員会の担当者の皆様の御努力によって、GIGAスクール構想の実現が一気に進められたということに、大変感銘を受けております。答弁内容にもありますけれども、『端末機器を整備するに当たっては、起動の早さと堅牢性、OSの更新による端末の買換えが不要、さらに授業での活用がイメージしやすい学習ツールが豊富に搭載されているという特徴を持つ「Chromebook 端末」を選定されたわけですが、このように様々な視点から目的に合ったものを選んでいただきましたこ

と、誠にありがとうございました。今後、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、子どもたちの力を最大限に引き出せるように御活用をどうぞよろしくお願いいたします。

一点お願いになりますが、今月 11 日に文部科学省から、端末の持ち帰り学習の実施についての通知があったことと思います。今後、そういうことになった際には、それらのことに御留意いただき、対応くださればと思います。

(伊藤教育長)

そのほか、委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

(大庭委員)

私も 5 ページの「GIGA スクール構想」の内容に関連してお話しします。答弁内容の中に、ICT 端末を使った効果やメリットが指摘されていますが、これからの子どもたちは、このような情報機器を使った生活は当たり前になってくると思います。このような事業が展開されていく中で、こういう機器を有効に活用していくことは、非常に大事なことかと思えます。

臨時休業や緊急時においては、端末を活用したオンライン学習は有効ですが、一方で、先生と子どもたちとの関係性、あるいは子どもたち同士の関係性、このようなものについては、やはり普段の授業の中で形成されていくものと考えておりますので、オンライン学習の活用には十分な配慮が必要であると思えます。

春からずっとオンライン授業を受けている関東の大学生の中には、大学を退学したい、休学したいといった学生もいるようです。学校生活の中で人間環境を作っていくといった、そういう楽しみが奪われていくことにもなりかねませんので、情報機器の活用は大変有効であると思えますが、緊急時のオンライン学習の在り方については、十分に配慮して取り入れていただければと思います。

(伊藤教育長)

そのほか、委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

(武輪委員)

私からは、新型コロナウイルス感染症対策、そしてコロナ禍における教育行政という点について、コロナウイルス全般のお話をさせていただきたいと思えます。

まずは 11 ページの「修学旅行について」です。私も学校訪問させていただいた際に、各学校の修学旅行等について、お話を伺っております。このようなコロナ禍の中での修学旅行の実施については、それぞれの学校の実情に合わせて保護者と話し合い、そして慎重に丁寧に対応いただいておりますことに、大変感謝申し上げます。

修学旅行の件から離れますけれども、コロナ禍の教育については、国においても少人数学級の実現に向けて議論が進められていたり、来年度から感染症専門の医師や看護師を学校に派遣して、最新の知見や予防策を伝える事業が進められていたり、また、八戸市としても、コロナ感染予防に最大の努力をなさりながら、様々な教育活動が行われていることに、本当に感謝申し上げます。

今週の月曜日に開催された「学校給食・食育活動見学会」においても、学校でのコロナ対策の苦勞を感

じましたので、少しお話をさせていただきたいと思います。見学会は「新型コロナウイルス感染防止に留意した学校給食の在り方」ということを主題に行われ、会場校である町畑小学校において、配膳の準備から給食を食べるところ、そして片付けまでの様子を拝見させていただきました。食べているときは、子どもたちは本当に静かで、おしゃべりもせず、黒板の方に向かって黙々と食べていました。その状況を見て、こういうことに子どもたちも段々と慣れてきているとは思いますが、本当は楽しくおしゃべりしながら食べたい気持ちを我慢しつつ、その時間を過ごしているのではと感じました。

学校側としては、手洗い場の蛇口をレバー式として使えるようなカバーを取り付けたり、給食を食べるときにも外したマスクをクリアケースに入れたり、感染予防対策を徹底していました。本当にたくさんの取組をしており、他の学校でもできるような取組を発表いただきました。また、栄養指導の先生のお話からも学ぶことが大変多く、今後、新型コロナウイルス感染症が流行する場合のことを想定すると、準備や片付けに要する時間が増えることが考えられるとのことでした。給食時間の延長であったり、食事の場所を分けたりする必要があるほか、更には少ない時間の中でも、おいしく栄養価を損なわないような献立も考えていく方針であるとお話いただいて、本当に子どもたちのことを考えている内容でしたので、参加された方々にも役立ててほしいなと思いました。御苦労されている先生方がたくさんいらっしゃる中で、本当に最大限のことをしていただいていると思います。感謝申し上げます。

(伊藤教育長)

そのほか、委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

(大庭委員)

11 ページの「修学旅行について」です。修学旅行については、それぞれの学校が、子どもたちや保護者の思いを考慮し、感染防止対策を図りながら対応していくことになるかと思います。本日の報告事項の中にある「是川縄文の日」や「是川縄文普及月間」の設定は、修学旅行における一つの視点として、いい企画だなと思います。それから、世界遺産登録に向けても、様々と活動が進められています。現在、各小・中学校では、コロナ対応のために修学旅行の日数を減少したり、目的地を変更したりということで、県内での実施に目が向いている学校もあるかと思いますが、私は、むしろこの機会をチャンスと捉えて、子どもたちが県内において、いい体験ができるのではないかと考えています。八戸の子どもたちが、改めて是川遺跡を始めとした縄文文化について学ぶチャンスであり、それをもとに、青森市の三内丸山遺跡との比較をするなどといったことができるのではないかと思います。

以前に、八戸三社大祭がユネスコ無形文化遺産に登録された際は、大変な盛り上がりであったと思います。しかしながら、子どもたち全体に浸透しているかという点、まだちょっと寂しいところもあります。この修学旅行を機会に、八戸三社大祭をもう一回見直すこともできると思います。小学校3年生に対して配られている八戸三社大祭の副読本は、大人が見てもいい資料だなと思います。小学校であれば、6年生の段階で見直して、場合によっては、青森市の「ねぶたの家ワ・ラッセ」や五所川原市の「立佞武多の館」を見るということも大変面白いと思います。県内のものを体験した上で、なぜ三社なのか、なぜユネスコに登録されたのかを考え、比較しながら、深めることができるかと思いますので、これまでと違った視点で、このコロナ禍における修学旅行が実施できるのではないかと感じております。

(伊藤教育長)

そのほか、委員の皆さんから質問等ありますでしょうか。

〔質疑なし〕

次に、「(2)秋季企画展 白神山地の縄文について」、「(3)是川縄文の日について」及び「(4)世界遺産登録の進捗状況について」は、どちらも是川縄文館からの報告事項となりますので、併せて事務局からの説明をお願いします。

【秋季企画展 白神山地の縄文について】

【是川縄文の日について】

【世界遺産登録の進捗状況について】

(松橋是川縄文館副館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いします。

〔質疑なし〕

(伊藤教育長)

次に、「第49回八戸市児童生徒発明くふう展の開催報告について」事務局からの説明をお願いします。

【第49回八戸市児童生徒発明くふう展の開催報告について】

(竹花総合教育センター所長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いします。

〔質疑なし〕

【秋の読書週間行事の開催について】

(田茂図書館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いします。

〔質疑なし〕

「(7)秋季特別展 暮らしの中の手仕事について」及び「(8)南郷歴史民俗資料館企画展 葉たばこ農家の一年について」は、どちらも博物館からの報告事項となりますので、事務局からの説明をお願いします。

【秋季特別展 暮らしの中の手仕事について】

【南郷歴史民俗資料館企画展 葉たばこ農家の一年について】

(小保内博物館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

そのほか、事務局から報告事項はありますか。

【ふるさと先人パネル展について】

(館合社会教育課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、御意見、御質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

そのほか、事務局から報告事項はありますか。

[なし]

事務局からは以上のようなようです。

それでは最後に「その他」ですが、委員の皆様方から何かございますか。

[なし]

閉 会

これもちまして令和2年9月教育委員会を終了いたします。お疲れ様でした。

(午後2時51分閉会)